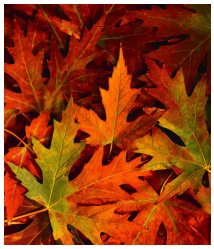
山岳クラブ／グーテンタータク(ドイツ語　こんにちは)

月　報　やまふみ

No.216　2013年　(平成25年)10月6日発行　山踏み

会　　長　　／MT
事務局長　　／TK
ホームページ／http://guten-nagano.com/
編　　集　　／ST　UR　KK
印　　刷　　／中央プリント(株)



目　次

山行報告 ……1～5
編集後記……5

焼岳の雷鳥について　12. 6.8, 13.6.5. 調査山行

L:　K 原　　非会員1名

きっかけ　焼岳は自分のお気に入りの山で、毎年 10 月の恒例登山となっている。魅力は、①眺め最高！：360 度大パノラマ　2455m 頂上眼下 955m に上高地・頭上 735m に穂高岳　②超短　時間日帰り可　③活火山の魅力(トロイデ地形　溶岩　噴煙　硫黄結晶　火口湖)　④低標高擬似高山　眺望突然変化　⑤植物(芽吹き　白樺ナナカマド紅葉　ヒース果実　針葉樹原生林　ヒカリゴケ)　⑥温泉　⑦蕎麦(新島々とく平:北海道粉ざる 600 円)　⑧断層地形(神谷境峠・梓川　連続するケルンコル・ケルンバット)　⑨梓川流路変更イベント歴史
etc.

一昨年、兄と登山中、頂上真近の 2400m 付近で、私が岩から頭を出した目の前 2m の所に雷鳥が二羽佇んでいてびっくりした。足輪は無いようだった。かつて此処に雷鳥がいる話は聞いたことがない。カメラは仕舞ったままだったので、慌てて携帯で撮影する。兄はデジカメで。翌週単独で再訪したが、8 時に頂上で一羽が飛翔するのを見た。越冬・営巣の可能性を強く感じた。帰宅してネットで調べたが、焼岳目撃営巣記録はどこにもなかった。

その年の冬、 雷鳥研究の第一人者信大の中村教授に会う機会があったので、とりあえず報告する。年改まった翌 3 月、某山岳協会主催の乗鞍雷鳥観察会に林さんとともに参加し、先生に写真を見て頂いた。(この時の観察会では、計画の甘さから通院必至の二人のけが人が出た) そして、6 月の調査山行となった。昨年の調査では、頂上高山帯一帯でノーマークのつがい4とあぶれオス計 9 羽を発見・捕獲・足輪付

けをした。また、天敵クマタカに襲われたメスの羽や獣(イタチ・テン・キツネ?)に食べられた跡もあった。雷鳥を追いかけ、営巣可能なハイマツ全株を調べ周り、非常に疲れたが、新発見に気持ちは高揚した。昨年 10 月、兄とは一日違いで登ったが、私はペアを、兄は雛数羽連れの雷鳥を確認できた。そして今回の調査となった。兄の話も聞いていたし、私も正式な調査員として登録して頂いたというので、自分も捕獲等できるかと期待したが…昨年の♂見張り岩に姿は見えず、7 時間以上に渡って調査・見張りを続けたにも拘らず、現実は、つがいが 1 ペア・あぶれ? 4 羽・足輪付け 1 羽 計 6 羽(重複 カウントしていれば 5 羽)のみという期 待外れの成果に終わった。天敵に襲われた可能性が大きい。
10 月下旬再訪予定。

キタさんのどうでも……よくないコーナー
※温暖化・鹿猿キツネテンイタチカラスなどの高山帯侵入・生態系の乱れが全国(世界中)で起こっている。特に南アの荒廃は酷い。雷鳥について も、北岳周辺は 20 年前の 1/3 に激減している。絶滅 必 至である。地球で唯一人間を恐れない雷鳥日本雷鳥。何としても守りたい。
※焼岳北峰に立てられている標識には標高 2393m とあるが(今もそうだよね?) これは全くの間違いだ。2393m は北峰西側 1911 年の噴火口インキョ穴の北側にある小コブである。北峰は 2455.4m の南峰とほぼ同じ標高、おそらく 5m と違わない。市役所の職員か県の役人か観光協会か環境省の役人か知らないが、こんなに有名で人気のある山の標高が違っているのは誠に恥ずかしい。全く読図ができないのか、軽率なのか、無神経なのか…
※5 日の噴気量は過去最低だったが、SO_2・H_2S には十分注意する必要がある。過去に、草津白根・安達太良山などで死亡事故が起きている。火口湖正賀池にも降りた事があるが(今は立ち入り禁止)、風のない時は有毒ガスが滞留するから危険。
お願い※焼岳で雷鳥を見かけたら、日時・場所・♂♀成鳥幼鳥違い・足輪の有無と色(左右上下に二個づつ)等を教えてください。宜しくお願いします。 K 原 記

8月26日(月)～28日(水)黒部五郎岳、三俣蓮華岳、双六岳(個人山行)

O 川
8 月 26 日(一日目) 天気:晴れ時々曇り
7:40 穂高温泉駐車場 → 9:00/20 ワサビ平→ 11:10/40 鏡平小屋→ 15:00 双六小屋
日本アルプスの主な縦走路上にある主な山で、登っていない唯一の山が黒部五郎岳となりました。折立からの縦走を考えていましたが、連日の猛暑から逃れたく、とりあえずと新穂高温泉からピストンで行ってきました。
新穂高温泉の駐車場を出発、左俣林道をしばらく歩きワサビ平小屋で一休み、冷えた野菜を補給しました。林道から小池新道に入り、しばらく歩くと穂高連峰と槍ヶ岳(写真 1)がくっきり見えてきたので、逆さ槍が約束された様な気がして、ちょっと急いで鏡平に向かいました。しかしながら鏡池についた頃には槍の穂先か雲に掛かってしまいました。鏡平小屋で昼食をとりながら穂先の雲が取れるのを待ちましたが、この時間ではムリ、双六小屋へ向かいました。
今回山行の各小屋とも健康に留意してなのか、小屋食には野菜が豊富に使われていました。これも中高年登山者(最近すっかり草食系の自分)への配慮なのでしょうか。はたまた女性の力? 数年前の山ガールとは、ちょっと雰囲気が(良い方に、例えばザック40リッター程度のテン泊装備のスッキリ3人組)違う若い女性の登山者が増えた様に思えました。

写真1. 槍ヶ岳　大喰岳

写真 2. 鷲羽岳と双六小屋

8 月 27 日（火）（二日目）　天気：晴れ時々曇り

5：20　双六小屋→6：20/30 双六岳→7：40/8：00 三俣蓮華岳→9:20/40　黒部五郎小屋
　　→12:00/30　黒部五郎岳　→　14:10　黒部五郎小屋

朝食（5 時から）をとり、霧雨だったので雨具を付け出発、しかしほとんど濡れることはありませんでした。ハイマツの急登がすぎ、中道の分岐に着く頃には、雲が上がり、次の急登に備え雨具を脱ぎました。頂上に付く頃には 360 度のパノラマでした。ただし、槍・穂高はちょうど逆光でしたので（裏銀から当たり前）、（判断ミスで）写真には収めることができませんでした。

写真3. 双六岳から
左から薬師、三俣蓮華、水晶、鷲羽

写真4. 双六から
黒部五郎岳

双六岳の山頂で山座同定し、稜線通しで、快適に三俣蓮華岳に向かいました。

写真5. 三俣蓮華岳より双六岳、笠ヶ岳

写真6. 三俣蓮華より水晶岳、鷲羽岳

三俣蓮華岳で一休み、今日の行動予定は黒部五郎小屋まででしたが、天気が良いので、黒部五郎岳に登ることとしました。黒部五郎小屋で受付を行い、稜線ルートで登山を開始しました。しばらく潅木の中を歩くと視界の広がる稜線出ました。チングルマがまだ咲いていたお花畑(写真7．)、カールを登っている人達や、周りの景色を眺めながら、稜線通しで頂上へ向かいました。
頂上では、一昨年計画し天候不良で未踏破の竹村新道と読売新道を眺め、来シーズン行かないとそろそろ体力的に･･･、秘境の雲の平も、折立から雲の平ピストンは無いよねぇ～！再度黒部五郎？等と考え、北ノ股岳への穏やかな稜線等を眺めながらマッタリしました。

8 月 27 日(月) 大西山(個人山行)

L　U木　　Y本　　会員外　2名
登山口　7:32--一山頂　10:42－山頂発10:55－登山口14:03

今日はめずらしく4名の参加者。にぎやかだったし数が増えると里山の南信までの高速代とガソリン代の負担がすくなく助かった。登山口まで南信の山は遠い。2時間半をかけて到着。ここの道路は南アルプスの入口であるようで皆さん詳しい。私は南アルプスは北岳しか知らない。2度頂上を極めたがそれもバットレスを登って頂上にでたので登山道を登ったことがない。広河原まで車で行ったことは覚えているが。車のなかで南アルプスの昔話に花が咲いた。３０００ｍの山をすべて登るために南アルプスに通ったそうだ。皆さん南アルプスを登りまくっているようだ。ただし詳しいけれどナビを無視して進んだら道を少し間違えて大鹿村に入るのにわざわざ峠を越えて細い山道をぐるぐると下るはめになった。（船頭多くして車山に登る）。正しくは天竜川に沿っていくと広い道路で楽々10分早くはずだった。

登山口の駐車場は元釣り堀の「釣り天国」で缶の中へ駐車場で300円を箱にいれる。橋をわたり少し上ると大きなビニールハウスのイチゴの栽培所が3軒ある。地面でなく高い木の棚に栽培されていて随分と変わった栽培方法だ。まだ実は熟していなかった。

登り始めてすぐ登山道が2本に分岐。意見が分かれた。（船頭多くして沢に入る）
片方は沢に下る。4人いると意見ががくがく。しかしそこでGPS様の登場だ。沢沿いの道は間違っていることが判明した。そこからは延々と高さ２０ｍくらいの広葉樹の木が林立して下草が一本もない林のなかをジグザグにひたすら登る。こんな山は初めてだ。本当にみごとなくらいに下草刈りがおこなわれていて草がまったくない。これだと熊もイノシシもでそうもない。だから虫がいない、花もいない。途中でわずかに生えていた花を撮影。花博士U本さんに教えてもらう。登山道で大きな木がどさんどさんと倒れている。土が浅くて根が持たない気がする。頂上までのどこも展望がない。木がどの場所

も高くて隙間がない。I部さんの解説では昔は展望所があるようだがそれも木が大きくなってしまってそこさえも展望ゼロ。おおむねコースタイム（登り2時間50分）に近い時間で頂上につく。頂上大鹿小学校登山記念の看板があった。危険な場所がないので小学校登山に向いている。岩もまったくない。落ち葉交じりの黒土の道をのぼるだけ。ただし雨のあとの下りは滑るのはうけあいだ。
（湯本花博士のお花の解説：橙色の花：フシグロセンノウ（節黒仙翁）白地に紫色の斑点があり2段になっているような花：ヤマジノホトトギス（山路の杜鵑草））
この山はトレーニングには向いているが山の息吹が感じられない単調な山だった。
だいぶ里山に登ったたがこんな味気のない山ははじめてだ。
帰りの車で次回の山の案が検討された。南信のスリルある南木曽岳とか　遠いけれど群馬の100名山　皇海山とか先日テレビでみた40年前に登った雨飾山もいいですな。車の中で話は尽きない。

U木　記

編 集 後 記

我が家の犬がいる。名前はハッピーで 2 代目　一代目は父が飼っていた。退職と同時に長野新聞に掲載された「犬をさしあげます」の欄で知りもらいうけた。8 年たつのでいぬとすれば中年くらいではないだろうか。

種類は分からないが知らない人によく柴犬ですかと言われる。お手はできないが唯一の芸がある。塀のような高くて狭いところを登って歩くのが好きなこと。近くの県警の施設の裏側の歩道で県警の高くて狭い塀を歩いていると散歩している人に褒められることある。変な犬。それ以外は無芸大食の犬だが。

犬で困るのは散歩中に所構わず糞をする。それを箸でつまみタッパーに入れる。一回目は硬いのでいいのだが 2 回目は柔らかくて拾うのが難しい。それで散歩は短時間にしておく。代わりにたまに 5 時間くらい山に連れていき息抜きさせる。拾った糞は家の庭に埋める。特に柿の木のまわりに埋める。柿がみのれば、そのおかげできっとおいしいだろう。

犬が家で吠えてうるさいと文句がきたりする。住宅街なので結構気をつかわなくてはいけない。孫の家でチワワを飼っていたら田舎のせいか狸かなにかに襲われて瀕死の重傷を負った。片方の肺の骨がめちゃめちゃになり療養生活をしている。犬を飼うのはなかなか楽ではない。　　/　ゾラ

今年の茶〇小屋は、昨年より更に客が増えたらしい。それも「変な客」が増えたと。この「変な」とはなんだ？例えば…水場の水をこの水は飲めるか？と訊く、テン泊で小屋食に弁当まで頼む、なかなか出発しない、小屋の人間に 100 名山制覇祝いを強要する、寝床を逆指定、食事時間を逆指定、さらにはもっと早起きして出せと言う…etc。要するに、下界の宿と同じ感覚の人々が南ア南部まで押し寄せているようだ。ああそう、某雑誌で南アの特集した影響？ブームが一過性のものであってほしい。…と嘆く小屋番らでした。

/とっこ

みなさん「やたら」という物はご存じでしょうか？私は信濃町に勤めるようになって初めてその名を聞きました。地元の方たちによると夏になると食べたくなる、ご飯がとっても進む「やたら」に旨いものらしいです。わたしは食べたことがないので町の方たちと「へ～そうなんですか、そんなに旨いんですか、でも私この町出身じゃないし食べたこと無いですねぇ。」などと話していました。するとある日、ある方から「やたらセット」（やたらの原材料の野菜たち詰め合わせ）を頂きまして、せっかくなので教わった通りに作ってみました。やたらに旨いかはさておき、確かに夏の暑い時にはご飯の進む一品でした、そうめんなんかの薬味にしてもよさそうだなぁ。　　/カタカナ